

# 新世代情報通信フェア News

## 情報通信の祭典今日開幕

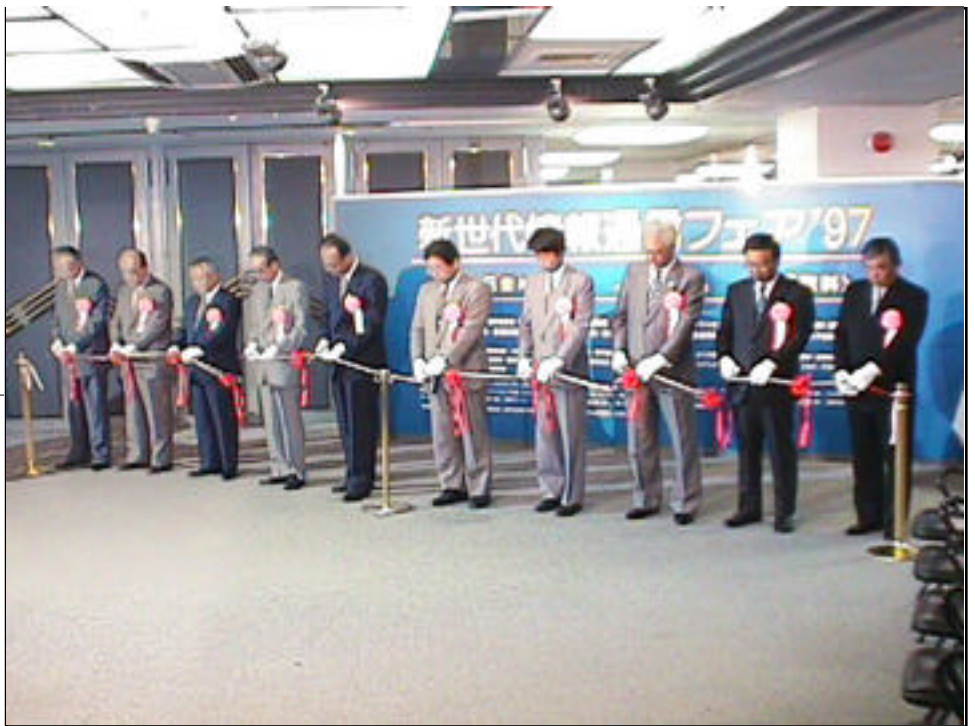
長野冬季オリンピックの開催、そして長野市フルネットパイロット事業を中心とした五輪後の地域情報化のあり方などをテーマに、「新世代情報通信フェア'97」が11日、長野市のながの東急百貨店シェルシア5階催し物会場で始まる。

開場に先立ち開会式を行い、田幸実行委員長が主催者を代表して挨拶、古越県出納長が祝辞を述べた。フェアは13日まで3日間の日程で、過去最大規模の43企業・団体が58ブースを出展する。

### 実行委員長挨拶要旨



長野オリンピックまで、あと200日あまりとなり、長野は国際都市としての姿を現してまいりました。この冬長野はわが国の高度情報通信技術を世界に披露する場となります。また、これらの施設はオリンピック後の地域情報化や情報ネットワークの中核として大きな役割を担う期待が寄せられています。そこで、これまでの開催を上げる規模で「新世代情報通信フェア'97」を開催することといたしました。21世紀に羽ばたく国際都市長野に思いを馳せていただくことを心から期待しております。開催にあたりまして関係各位に多大なご協力を賜りましたことを、厚くお礼申し上げます。



フェアの開幕を告げるテープカット

### シンポジウム

初日の午後には、長野口イヤルホテル飛天の間でシンポジウムが開催される。基調講演は郵政省通信政策局長の木村強氏。「情報通信21世紀ビジョン」が目指すもの、と題し様々な変

化が予想される21世紀の通信事情がどうなるか?会場に来たみんなが持っている期待と不安に答える郵政省の通信政策についてわかりやすく解説する。続いて行われるパネルディスカッションも各界の論客を招き「ネットワーク大航海時代 オリンピック開

新世代情報通信フェアNews '97 第一号  
この刊行物のお問い合わせはフェア会場内のavisブース  
凸版印刷ブースにて担当者にお尋ねください

- パネリストは、山梨大学工学部 教授 伊藤 洋 氏
- (株) ニューメディア 代表取締役 天野 昭 氏
- (株) 情報・空間デザイン 代表取締役 残間里江子 氏
- コーディネーターに、信州大学工学部 教授 遠藤 守信 氏
- を予定している。

プロバイダ選びの新基準、使えるインターネット

http://www.avis.ad.jp/index-j.html

# 新世代情報通信フェア News

フェア  
初日

## 満員盛況のシンポジウム

初日の午後、長野ロイヤルホテル飛天の間で開催されたシンポジウムは、300人収容の会場に聴講希望者が殺到し、主催者は急遽増席を設けることとなった。

基調講演は郵政省通信政  
策局長の木村強氏。様々な  
変化が予想される21世紀の  
通信事情がどうなるか?会

場に来たみんなが  
持っている期待と  
不安に伝える郵政  
省の通信政策につ



1- (21世紀  
に向けて推  
進すべき情報通  
政策と実現可能  
未来像)ビデオ  
交えてわかりや  
く解説された。特  
に力を込めてお  
られたのは、この通  
信政策は単に郵政  
省だけの物でなく  
政府・各省庁全体  
で進めて行くこと  
であった。



木村 強氏

続いて行われたパネルデ  
イスカッションも著名な論  
客を招いただけあってその

プロバイダ選びの新基準、  
使えるインターネット

http://www.avis.ad.jp/index-j.html



舌鋒には来場者は圧倒さ  
れっぱなし。しかし、オリ  
ンピックとその後の対応に  
ついて



また、今後のキーポイン  
トとして、情報弱者に対す  
る対応についての意見につ  
いてパ  
ネラー  
各氏の  
本音が  
出て興  
味深  
かつ



失って行く都市が多い中、  
長野市はオリンピック開催  
とそれを期に整備が進む情  
報通信インフラを有効に活  
用して、  
地域のア  
イデンテ  
イティを  
残すと共  
に世界に  
発信する  
事を考え  
る事が重  
要と結ん  
だ。



伊藤 洋氏



和気藹々のレセプション

シンポジウムの後開かれ  
たレセプションはシンポジ  
ウムの講師を始め、地元有  
志、主催者の約200人が  
参加、シンポジウムの興奮  
をこの会場まで持ち込んで  
随所で議論が彷彿。特に  
講師となった方々のところ  
には入れ替わり立ち替わり  
質問責めで、散会となった  
後までその余韻は続いた。

新世代情報通信フェアNews  
'97第二号

この刊行物のお問い合わせは  
フェア会場内の  
avisブース  
INCブース  
凸版印刷ブース  
にて担当者にお尋ねください

# 新世代情報通信フェア News

## フェア二日目、展示会場が主役

新世代情報通信フェア97も第二日目を迎え、最新情報機器・システム展の会場にイベントの主役が移ることとなった。

今年の会場はNAOC・NAPOCコーナーで、オリンピック関係ホームページとメダルの展示に始まり長野市フルネットセンターで開発中の各種システム展示、中央コリドー構想と続き、その先に参加各社のブースが軒を連ねている。展示に使われているハードウェアはパソコンと携帯電話が圧倒的で、いよいよソフトウェアとコンテンツの時代に入ったことを実感する。



インターネット技術の情シテムへの関心の高さと共に、21世紀の情報通信システムへの期待の高さを示している。

プロバイダ選びの新基準、使えるインターネット




<http://www.avis.ad.jp/index-j.html>



が、より高速の通信ネットワークを必要とする展示も、信濃毎日

新聞社のデータベースを始め、数社のブースで行われていたが、特に長野ケーブルテレビINC・電算・凸版印刷のブースではINCのCATV回線による10Mbpsの高速デジタル回線を使用している。ムーブなデモを行っていたのが特徴だった。



地図を利用したシステムも3社ほどが展開しているが、効用の主点を絞って利用を考えることがポイントと見受けた。新しいハードウェアでは東芝がDVDを出品。ソフトの充実が待たれるところである。

能動的でない御仁にはインターネットによるテレビ・ラジオ放送やプッシュ型システム(電算・INC・FM善光寺)が今年初見参。また定点カメラからの画像も建設省や日本電気で扱っていた。



紙メディアの今後の新しい分野を開くものとして、新聞データベース(信濃毎日新聞)やPDF(電算・INC・凸版・大日本印刷)があり、放送のデジタル化と結びつく多くの可能性が生ずると言えよう。既存システムの今後のあり方を示していたのは、信越郵政局とNHK。また、NNTTE出展のホーム

ランは、これからの住宅内の情報配線の参考となるが、同軸ケーブル系の情報配線も考慮に入れて欲しいかった。



学校からの参加3校もそれぞれに特色を出しており、これに参加した学生諸君が社会人となりこの分野で活躍することが期待される。いずれにしても過去のこのフェアを振り返るとその進歩に驚かされると共に、21世紀に期待を持たせる展示会である。

新世代情報通信フェアNews '97 第三号

この刊行物のお問い合わせはフェア会場内のavisブース

INCブース

凸版印刷ブース

にて担当者にお尋ねください